



産業用無線LANアダプタ

DAP-P3W6

ユーザーズマニュアル

この度は、産業用無線 LAN アダプタ DAP-P3W6 をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本製品を正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に必ず本書を熟読していただき注意事項は必ずお守りください。

ご注意

本書に記載されている情報や仕様等は、2023 年 6 月現在のもので予告なしに変更されることがあります。これに対しダイヤトレンド株式会社は一切の責任を負いません。また、本書の内容の全部及び一部はダイヤトレンド株式会社の許可なく、いかなる方法いかなる形でも複製、複写、転写することは一切禁止されています。本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、ダイヤトレンド株式会社では海外での保守サービス及び技術サポートは行っておりません。本製品の仕様及び本書の運用を理由とする結果の影響については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。Diatrend はダイヤトレンド株式会社の登録商標です。その他の記載された社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

安全に関するご注意

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。ご使用の際は必ずお守りください。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し説明しています。

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
---	-----------------------------------

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
---	-----------------------------

	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
---	--------------------------------

危険

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。



パソコンや周辺機器の指示する警告、注意を厳守する

動作不良の原因になります。



分解、改造、直接半田付けしない

発熱・発火・破裂のおそれがあります。

警告

この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。



本体を水等に浸したり、濡れた手で触れたりしない

感電のおそれがあります。

注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



強い衝撃を与えない

本製品は精密電子機器ですので故障の原因になります。



本製品に重いものを載せない

本製品は精密電子機器ですので故障の原因になります。



本製品付属の専用 PoE アダプタまたは IEEE802.3at 準拠の PoE ハブ/インジェクタ 以外で給電しない

故障の原因になります。また本製品同梱の専用 PoE アダプタは他の機器に使用しないでください。



煙が出たり、変なにおいがするときは電源を抜く

火災の原因になります。お買い上げ販売店または弊社に修理を依頼してください。



取り付け、取り外し時は電源を切ってから行う

感電や故障の原因になります。



通信中に抜き差しをしない

エラー等が発生し機械の誤作動につながるおそれがあります。

※正しく安全にセットアップを行っていただくため「第 2 章 スタートアップ」をよくお読みください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み取られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意のある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っているので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人・・・電子情報技術産業協会（JEITA）
無線 LAN のセキュリティに関する注意事項 第 1 版

目次

第1章 概要	
1.1 はじめに	5
1.2 特長	5
1.3 パッケージ内容	5
1.4 仕様	6
1.5 外形図	7
第2章 スタートアップ	
2.1 準備	9
2.2 設置に関する警告	9
2.3 本体の接続	10
2.4 アース線の接続	11
2.5 本体の設置	12
第3章 基本システム設定	
3.1 初期設定	15
3.2 システム要件	16
3.3 Webブラウザからのログイン方法	17
第4章 概要	
4.1 デバイス状態	19
4.2 接続	22
4.3 リアルタイム	23
4.4 LED表示	24
第5章 設定	
5.1 ネットワーク	27
5.1.1 基本	27
5.1.2 ワイヤレス	28
5.2 メッシュ	34
5.2.1 ステータス	34
5.2.2 設定	35
5.2.3 ツール	36
5.3 管理	38
5.3.1 アドバンスド	38
5.3.2 タイムゾーン	40
5.3.3 Wi-Fiスケジューラー	41
5.3.4 ツール	42
5.4 システムマネージャー	44
5.4.1 アカウント	44
5.4.2 ファームウェア	45
5.4.3 ログ	46
5.5 リセット	47
5.5.1 デバイス再起動	47
5.5.2 初期設定にデバイスを復元	47
5.6 ログアウト	47
5.7 言語切り替え	47

第 1 章 概要

1.1 はじめに

DAP-P3W6はWi-Fi6 (IEEE802.11ax) に対応し、屋内および屋外での多目的な用途に対応する接続信頼性の高い無線ネットワークを提供する産業用無線 LAN アダプタです。

574Mbps/2.4GHz および 1,200Mbps/5GHzの伝送速度とWPA3/WPA2-PSK(AES)暗号化により、高速かつセキュアなネットワークを提供します。

IP67 準拠の耐候性 / 防塵防水性のある筐体により、厳しい環境から保護されます。

アクセスポイント、クライアントブリッジ、WDS (アクセスポイント、ブリッジ、ステーション)、メッシュ (※ 1) のモードを切り替えることで柔軟なネットワーク構成を構築できます。

2つのストリームとビームフォーミング技術により、アンテナ信号をクライアントデバイスに集中させ、ユーザーに最適な信号の受信を提供します。(※ 2)

電源は IEEE802.3at 準拠のPoEに対応しており、専用PoEアダプタもしくは対応のPoE ハブ/インジェクタからLAN ケーブル 1本で給電可能です。

1.2 特長

- IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax 無線 LAN 規格に準拠 (電波周波数 : 2.4GHz、5GHz)
- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T/2.5GBASE-T 対応の RJ-45 イーサネットポート
- 最大 574Mbps/2.4GHz および 1,200Mbps/5GHz の高速無線通信をサポート
- 2×2 MIMO 技術対応
- 双方向 MU-MIMO、OFDMA 対応で複数の機器と効率的に高速通信が可能
- 5GHz 2本、2.4GHz 2本の無指向アンテナ (5dBi)
- ビームフォーミング機能対応 (※ 1)
- アクセスポイント、クライアントブリッジ、WDS (アクセスポイント、ブリッジ、ステーション)、メッシュ (※ 2) モードをサポート
- IEEE802.3at 準拠の PoE による電源供給に対応 (※ 3)
- IP67 の保護構造による耐候性 / 防塵防水性
- WPA3/WPA2-PSK(AES)、OWE の無線 LAN セキュリティ規格及び、IEEE802.1X 認証に対応
- WMM (Wi-Fi Multimedia) サポート
- Web ブラウザによる簡単設定
- ネットワーク管理のための SNMP v1/v2c/v3、MIB-I/IIをサポート
- Auto MDI/MDI-X 機能に対応
- スパニングツリープロトコル (STP) サポート
- ポール取り付け、壁掛け取り付け可能

1.3 パッケージ内容

ご使用前に、下記に記載された項目が梱包されているか、また製品の状態を確認してください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| ● DAP-P3W6 | 1台 |
| ● 専用 PoE アダプタ | 1個 (注 1) |
| ● AC コード (1.2m) | 1本 |
| ● 標準アンテナ (5dBi) 5GHz、2.4GHz | 各2本 (注 2) |
| ● ポール取り付けリング (適合ポール外径 35 ~ 63 mm) | 2個 |
| ● 取り付け用ブラケット | 1個 |
| ● 取り付け用ビスセット | 2セット |
| ● アース線 (1.8m) & ビスセット | 1セット |

万一不足がございましたら、お買い上げ販売店または弊社までご連絡ください。

お問い合わせの際は製品背面シールに記載のシリアル No. をご確認ください。

(注 1) 専用 PoE アダプタは DAP-P3W6 専用です。他の機器に使用しないでください。

(注 2) 指定のアンテナ以外のご使用はできません。

指定のアンテナ以外のご使用は電波法違反となります。また、電波法は日本国内のみ取得しています。

(※ 1) クライアント側もビームフォーミングに対応している必要があります。

(※ 2) WDS、メッシュ接続は DAP-P3W6 同士でのみ対応可能です。

(※ 3) 最長 100m まで対応可能です。

1.4 仕様

ネットワーク規格	ワイヤレス	IEEE802.11 a/b/g/n/ac/ax
	イーサネット	IEEE802.3 /u/ab/bz
電波周波数 (※ 1)		2.4GHz、5GHz
伝送速度 (MAX)	2.4GHz	574Mbps 11ax 時
	5GHz	1,200Mbps 11ax 時
	イーサネット	2.5Gbps
ポート数		RJ-45 : 1 ポート (PoE)
標準アンテナ (注 1)		2.4GHz 5dBi 無指向アンテナ 2 本 5GHz 5dBi 無指向アンテナ 2 本
ユーティリティソフトウェア		設定ユーティリティ (Web ブラウザからアクセス)
対応 Web ブラウザ		Google Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefox
セキュリティ		OWE、WPA2、WPA3、IEEE802.1X 認証
電源		PoE 給電 (IEEE802.3at)
専用 PoE アダプタ (※ 2)		入力 AC100 ~ 240V (※ 3) 出力 54V
消費電力 (MAX)		15.9W
MTBF		630,585 時間
適合規格		TELEC、EN55032/35、EN61000-3-2、EN61000-3-3、 EN61000-4-2、EN61000-4-3、EN61000-4-4、 EN61000-4-5、EN61000-4-6、EN61000-4-8、 IEC 60068-2-6、IEC 60068-2-27
取付方法		ポール取り付け、壁掛け取り付け
動作温度		-20 ~ 60℃
保存温度		-30 ~ 80℃
動作湿度		90% RH 以下、結露なきこと
保存湿度		90% RH 以下、結露なきこと
保護構造		IP67
外形寸法 (W × D × H)		124.0 × 47.0 × 190.0mm (アンテナ部及び突起部含まず)
本体重量		735g (アンテナ及び付属品含まず)

(注 1) 指定のアンテナ以外でのご使用は電波法違反となります。

また、電波法は日本国内のみ取得しています。

(※ 1) 5GHz 帯を使用する場合、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

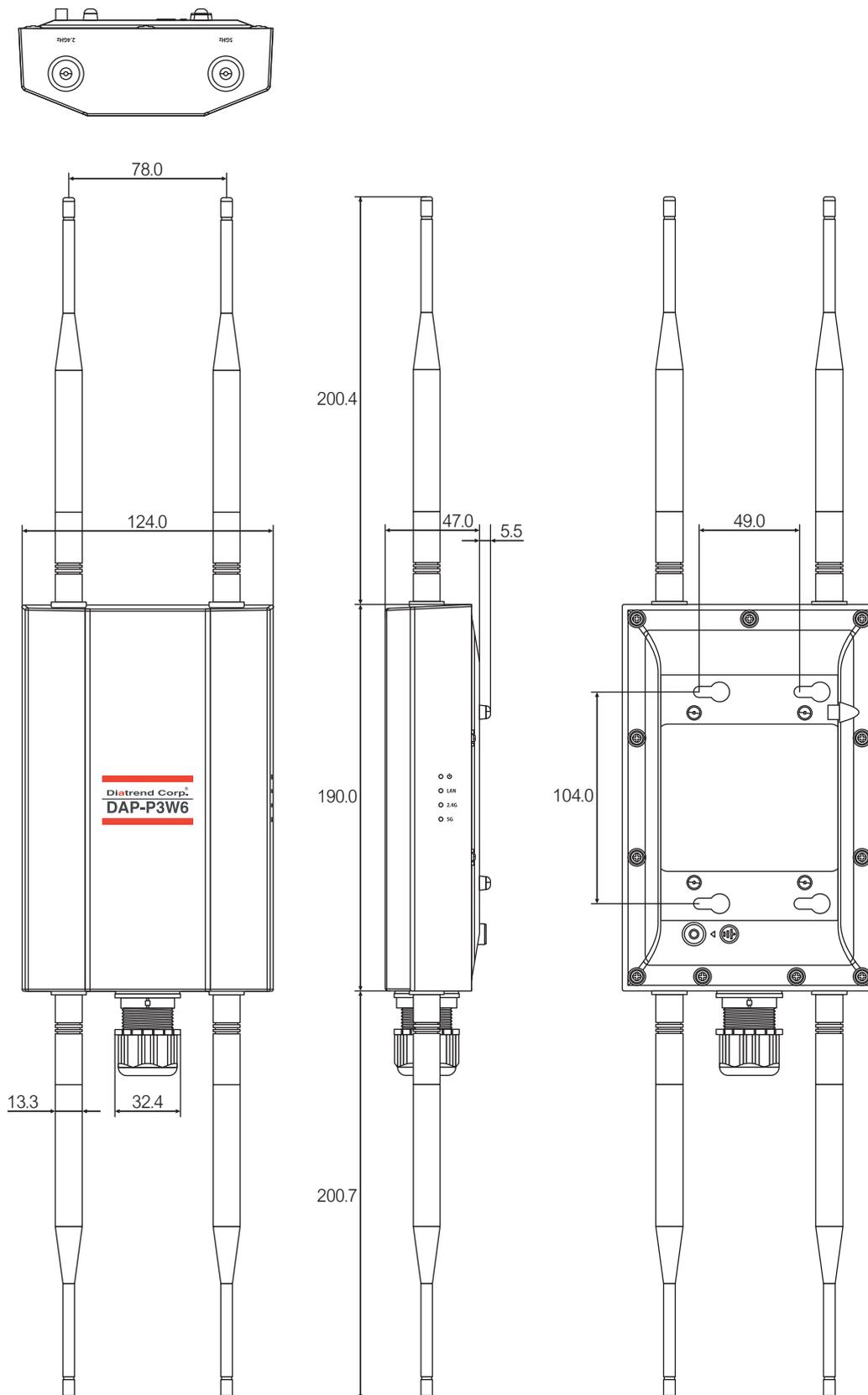
また 5.3GHz、5.6GHz 帯域の電波を使用する場合は気象レーダーなどの干渉を避けるための DFS 機能により一時的に通信が途切れる可能性があります。

(※ 2) 付属の PoE アダプタは DAP-P3W6 以外に使用しないでください。

(※ 3) PoE アダプタは～ AC240V の対応ですが付属の AC コードは～ 125V までとなっております。

1.5 外形図

詳細な寸法はホームページの外形図をご参照ください。



単位 : mm

第2章 スタートアップ

この章では DAP-P3W6 を使用する前に必要な製品情報と安全上の注意点を記載しています。

2.1 準備

製品に関する注意

DAP-P3W6 は日本の電波法における「小電力データ通信システムの無線局の無線設備」として技術基準適合証明を受けているため、無線免許は必要ありません。

また、DAP-P3W6 は日本国内の電波法により認証を受けたものであるため海外では使用できません。

DAP-P3W6を分解及び改造する、本体に貼ってある証明ラベルを剥がす等の行為を行うと法律で罰せられることがあります。5GHz 帯を使用する場合、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

また 5.3GHz、5.6GHz 帯域の電波を使用する場合は気象レーダーなどの干渉を避けるための DFS 機能により一時的に通信が途切れる可能性があります。

安全に関する警告

1. 安全を確保し、DAP-P3W6 を適切に設定するために、この安全に関する警告をお読みください。
2. 初めて DAP-P3W6 を設定する場合、安全のため非常時に対応できる方の協力を得てください。
3. 安全上及び正常な動作のために、電力線や電話線から離して設置してください。
4. DAP-P3W6 を安全に設置するために、設置の前に「2.2 設置に関する警告」をお読みください。
5. システムの動作中は DAP-P3W6 の正面に立たないでください。伝送時に強い無線電波が発生します。

設定に関する注意

本製品を正しくご使用いただくためには無線及びネットワークについての詳しい知識が必要です。

無線及びネットワーク設定に詳しい管理者がセットアップを行ってください。

2.2 設置に関する警告

1. DAP-P3W6 を正しく設置するため、この設置に関する警告をお読みください。
2. DAP-P3W6 を設置する際、次のことに注意してください。
 - 高い場所等に設置する場合に金属製のはしごを使用しないでください。
 - 雨の日や風の強い日には設置しないでください。
 - 絶縁性の靴や手袋を使用し、長袖のシャツまたはジャケットを着用して設置してください。
3. DAP-P3W6 周辺に避雷器を設置することで、雷による故障が軽減される可能性があります。雷による故障は保証できません。
4. DAP-P3W6 への電力供給には付属の専用 PoE アダプタまたは IEEE802.3at に準拠した PoE ハブ/インジェクタのみ対応しています。他のものを使用すると故障するおそれがあります。
5. 標準アンテナを取り付ける際は必ず電源を切った状態で行ってください。
6. DAP-P3W6 は 2.4GHz/5GHz 帯の無線電波を使用するため電子レンジ等の産業・科学・医療用機器の他、移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局等に対して電波干渉を起こす恐れがあります。万一 DAP-P3W6 を使用した際に他の機器に対して電波干渉が生じた場合、DAP-P3W6 の使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上で、干渉が起こらないよう出力電力を調整する、パーティションで区切るなどの処置を行ってください。
7. DAP-P3W6 を設置する場合は電気溶接機等の強いノイズを発生させる機器の近辺に設置しないでください。
8. DAP-P3W6 背面にあるアース端子に付属のアース線を接続することで電磁ノイズに関する問題の解決ができることがあります。

2.3 本体の接続

(※) LAN ケーブルは付属していません。下記の LAN ケーブルをご用意ください。

- ・カテゴリ 5e 以上
- ・ストレートケーブルまたはクロスケーブル
- ・適合外径：4.5～6.5mm

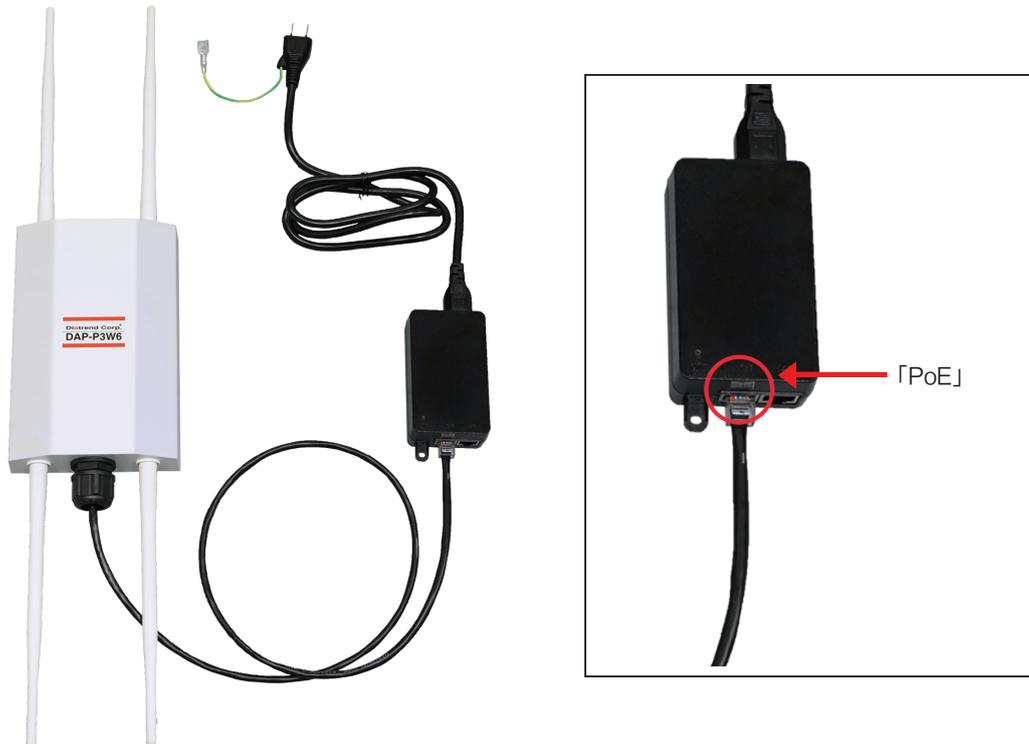
1. DAP-P3W6 の下部には防水コネクタがついています。回して外してください。
2. 防水コネクタ（ゴムブッシング）に LAN ケーブルを通した後、本体の RJ-45 ポートに接続してください。



(※) LAN ケーブルの適合外径は 4.5～6.5mm です。範囲外の LAN ケーブルを使用すると防塵防水性能が保てません。また LAN ケーブルのコネクタにカバーなどがあると防水コネクタが閉まらない可能性があります。

(※) RJ-45 ポートが少し奥まっているため LAN ケーブルを取り外す際マイナスドライバーなどが必要になります。

3. キャップを締めてください。
4. 専用 PoE アダプタに付属の AC コードを接続してください。
5. 手順 2 で DAP-P3W6 に接続した LAN ケーブルを専用 PoE アダプタの PoE ポートに接続してください。



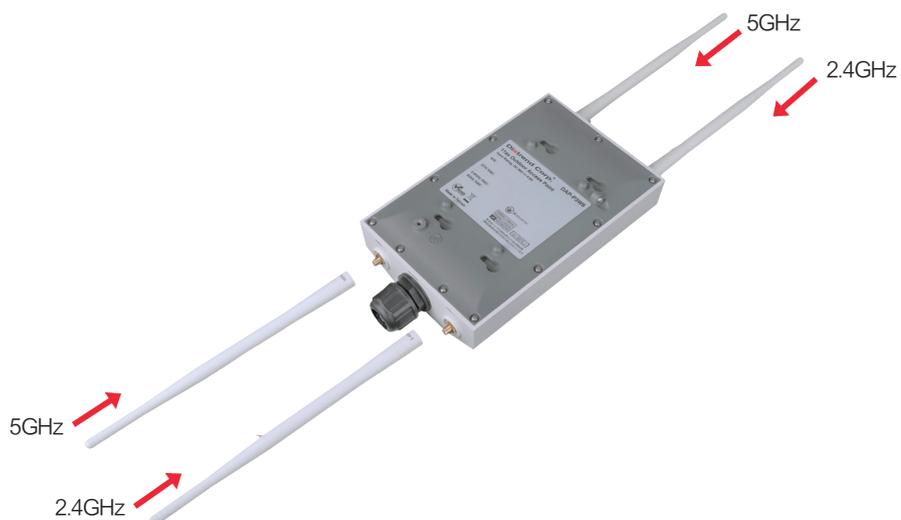
(※) 接続ポートを間違えないでください。システムが故障する原因になります。

(※) DAP-P3W6 と専用 PoE アダプタ間のケーブル長は 100m 以下でご使用ください。

(※) IEEE802.3at 準拠の PoE ハブ/インジェクタからの給電にも対応しております。
PoE ハブ/インジェクタから給電する場合は本体と LAN ケーブルで直接接続してください。

引続き以下の手順でアンテナを取り付けてください。

6. DAP-P3W6 の上部と下部にアンテナを接続するための R-SMA アンテナコネクタが 2 つずつあります。
R-SMA コネクタにアンテナを接続してください。
アンテナは 2.4GHz 用と 5GHz 用が 2 本ずつありますのでそれぞれの表記を確認して接続してください。



- (※) アンテナを外した状態で DAP-P3W6 に電源を供給しないでください。DAP-P3W6 が故障する恐れがあります。
- (※) 指定のアンテナ以外を接続しないでください。また、ケーブル等でアンテナを延長しないでください。
- (※) アンテナを接続する際、締め込みすぎないようにご注意ください。
締め込みすぎるとアンテナコネクタが破損するおそれがあります。

2.4 アース線の接続

DAP-P3W6 にはアース端子およびアース線が付属しています。電磁ノイズが発生する環境においては適切なアース接続を行うことで問題を解決できる場合があります。

1. DAP-P3W6 の背面にあるアース端子に付属のアース線をねじ止めしてください。
2. 付属のアース線を接地接続してください。



2.5 本体の設置

DAP-P3W6 は以下の方法で取り付けることができます。

- ポール取り付け
- 壁掛け取り付け

●ポール取り付け

1. 取り付けブラケットにある2つのタブにポール取り付けリングを通します。
2. ポールに取り付けブラケットを取り付けドライバーでポール取り付けリングを締め込み固定します。
3. 取り付けブラケットにDAP-P3W6本体をスライドして取り付けビスで固定します。



- (※) ブラケットと本体を固定するためのビスは出荷時本体に取り付けられていますので外してご使用ください。
- (※) 適合ポール外径は 35 ～ 63mm です。

●壁掛け取り付け

1. 取り付けブラケットの4つの穴を使い取り付けビスで壁に固定してください。
壁の材質などによって適切なビス、アンカーをご使用ください。
2. 取り付けブラケットにDAP-P3W6本体をスライドして取り付けビスで固定します。



(※) ブラケットと本体を固定するためのビスは出荷時本体に取り付けられていますので外してご使用ください。

第 3 章 基本システム設定

3.1 初期設定

項目	設定値
ユーザー名	admin
パスワード	admin
IP ネットワーク設定	DHCP
IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリ DNS	0.0.0.0
セカンダリ DNS	0.0.0.0
IPv6 設定	リンクローカルアドレス
スパニングツリープロトコル設定	無効
デバイス名	DAP-P3W6
国 / 地域	Japan
設置場所	屋外
動作モード	アクセスポイント 2.4GHz, 5GHz 共に
チャンネル HT モード	2.4GHz : 20MHz, 5GHz : 80MHz
チャンネル	自動 2.4GHz, 5GHz 共に
送信電力	自動 2.4GHz, 5GHz 共に
クライアント数制限	有効 (127) 2.4GHz, 5GHz 共に
SSID	DiatrendXXXXXX_1 (X は 2.4GHz の MAC アドレスの下 6 桁)
ステルス SSID	無効
クライアントアイソレーション	無効
VLAN アイソレーション	無効
L2 アイソレーション	無効
ワイヤレスセキュリティ	None
ワイヤレス MAC フィルター	無効
ワイヤレストラフィックシェーピング	無効
時刻設定	時刻自動取得 (pool.ntp.org)
自動再起動設定	無効
Wi-Fi スケジューラー	無効
SNMP 設定	有効
CLI 設定	有効
TELNET 設定	有効
SSH 設定	無効
HTTPS 設定	無効
E メールアラート	無効
Ping ウォッチドッグ	無効
システムログ	有効
リモートログ	無効

3.2 システム要件

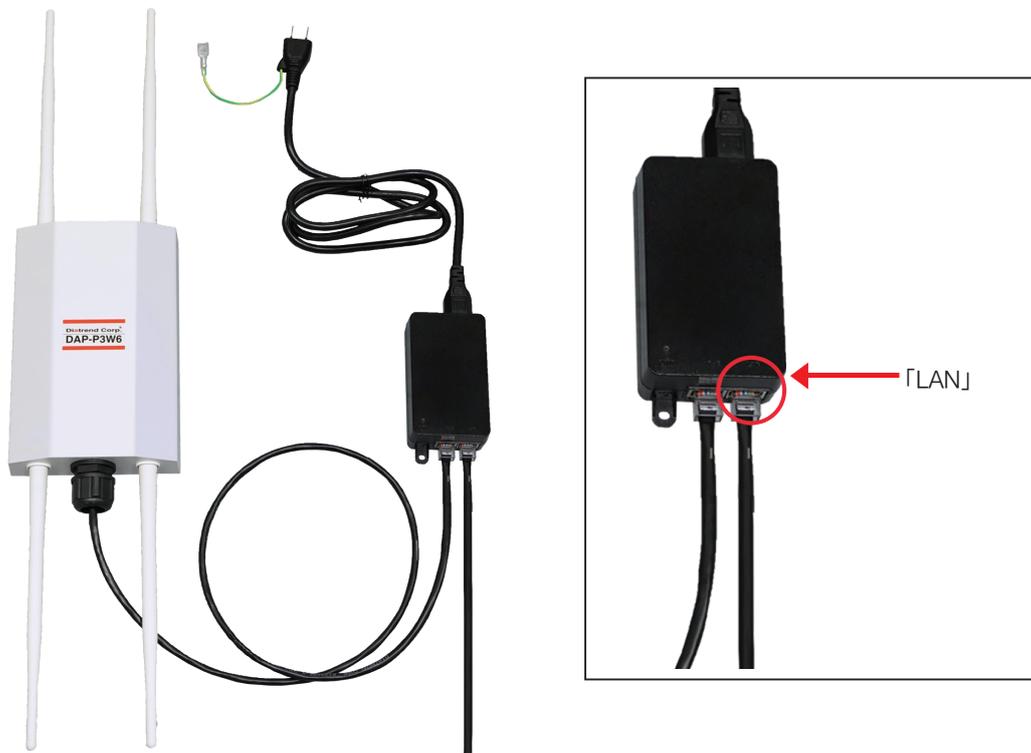
(※) LAN ケーブルは付属していません。下記の LAN ケーブルをご用意ください。

- ・カテゴリ 5e 以上
- ・ストレートケーブルまたはクロスケーブル

DAP-P3W6 の設定を行う前に以下のセッティングを行ってください。

1. DAP-P3W6 と専用 PoE アダプタ (PoE ポート) を LAN ケーブルで接続してください。
2. DAP-P3W6 に接続された専用 PoE アダプタ (LAN ポート) とパソコンを LAN ケーブルで接続してください。
3. 専用 PoE アダプタに AC コードを取り付けて電源を供給してください。

注意：専用 PoE アダプタの PoE ポートには DAP-P3W6 以外を接続しないでください。
システムが破壊される恐れがあります。

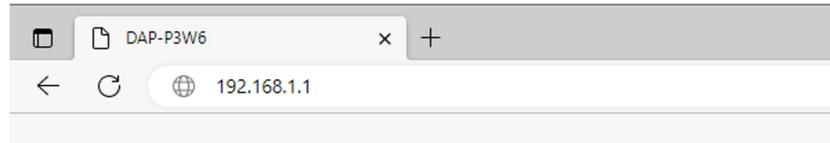


4. パソコンの IP アドレスを DAP-P3W6 の IP アドレス (初期設定値 :192.168.1.1) と異なる IP アドレス (192.168.1.X) に設定してください。(X に 0,1,255 は使用できません)
5. Web ブラウザを起動してください。

(※) 対応 Web ブラウザは Google Chrome, Microsoft Edge, Mozilla Firefox です。

3.3 Web ブラウザからのログイン方法

1. Web ブラウザを起動し、アドレスバーに DAP-P3W6 の IP アドレス（初期値：192.168.1.1）を入力してください。



2. 設定ユーティリティが起動しますので、ユーザー名（初期値：admin）とパスワード（初期値：admin）を入力し、「ログイン」をクリックしてください。初めてログインした場合アカウントとパスワードの変更画面が表示されます。必要に応じて変更してください。この手順を無視して、後で修正することも可能です。



注意：アカウントとパスワードは大文字と小文字が区別されます。
また、アカウントとパスワードの文字数は 12 文字以内で設定してください。

ログインするとデバイス状態が表示されます。



デバイスインフォメーション	
デバイス名	DAP-P3W6
シリアル番号	TV102230015
MACアドレス	
- LAN	1C:82:59:20:3C:2A
- ワイヤレスLAN - 2.4GHz	1C:82:59:20:3C:2B
- ワイヤレスLAN - 5GHz	1C:82:59:20:3C:2C
国	Japan
現在時刻	2023/04/18 00:46:58
稼働時間	2h 33m 6s
ファームウェアバージョン	0.0.13
デバイスバージョン	1.0
管理VLAN ID	タグなし

メモリインフォメーション	
利用可能合計サイズ	746624 KB / 910212 KB (82%)
空きサイズ	683712 KB / 910212 KB (75%)
キャッシュサイズ	47636 KB / 910212 KB (5%)
バッファサイズ	15276 KB / 910212 KB (1%)

LANインフォメーション - IPv4	
IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNS	0.0.0.0
セカンダリDNS	0.0.0.0

第 4 章 概要

この章ではデバイス、接続、通信の状態表示について記載しています。

4.1 デバイス状態

デバイス状態、メモリの使用状況、各インタフェースの設定状態などを表示します。「概要」-「デバイス状態」から表示します。下部の「リフレッシュ」をクリックすると表示が更新されます。

●デバイスインフォメーション

デバイスインフォメーション

デバイス名	DAP-P3W6
シリアル番号	TV102230015
MACアドレス	
- LAN	1C:82:59:20:3C:2A
- ワイヤレスLAN - 2.4GHz	1C:82:59:20:3C:2B
- ワイヤレスLAN - 5GHz	1C:82:59:20:3C:2C
国	Japan
現在時刻	2023/04/18 00:51:23
稼働時間	2h 37m 31s
ファームウェアバージョン	0.0.13
デバイスバージョン	1.0
管理VLAN ID	タグなし

- ・デバイス名：デバイス名を表示します。SNMP マネージャーなどで表示されます。
- ・シリアル番号：製品に割り当てられたシリアル番号を表示します。
- ・MAC アドレス：LAN ポート、2.4GHz 無線 LAN、5GHz 無線 LAN の各インタフェースの MAC アドレスを表示します。
- ・国：使用できる国名が表示されます。本製品は日本（Japan）のみの対応です。
- ・現在時刻：現在時刻を表示します。
- ・稼働時間：稼働時間を表示します。再起動された場合は再起動されてからの時間となります。
- ・ファームウェアバージョン：ファームウェアのバージョンを表示します。
- ・デバイスバージョン：デバイス（ハードウェア）のバージョンを表示します。
- ・管理 VLAN ID：管理用 VLAN ID を表示します。管理用 VLAN ID が設定されていない場合は「タグなし」を表示します。

●メモリインフォメーション

メモリインフォメーション

利用可能合計サイズ	749356 KB / 910212 KB (82%)
空きサイズ	684464 KB / 910212 KB (75%)
キャッシュサイズ	49316 KB / 910212 KB (5%)
バッファサイズ	15576 KB / 910212 KB (1%)

- ・利用可能合計サイズ：メモリの利用可能な合計容量を表示します。
- ・空きサイズ：メモリの空き容量を表示します。
- ・キャッシュサイズ：キャッシュに使用されているメモリの容量を表示します。
- ・バッファサイズ：バッファに使用されているメモリの容量を表示します。

● LAN インフォメーション - IPv4

LANインフォメーション - IPv4

IPアドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
プライマリDNS	0.0.0.0
セカンダリDNS	0.0.0.0
DHCPクライアント	無効
スパンニングツリープロトコル(STP) ⁱ	無効

- ・ IP アドレス：本製品の IPv4 アドレスを表示します。
- ・ サブネットマスク：本製品のサブネットマスクを表示します。
- ・ ゲートウェイ：本製品のデフォルトゲートウェイを表示します。
- ・ プライマリ DNS：本製品のプライマリ DNS サーバーの IP アドレスを表示します。
- ・ セカンダリ DNS：本製品のセカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを表示します。
- ・ DHCP クライアント：DHCP クライアントの有効または無効を表示します。
- ・ スパンニングツリープロトコル (STP)：スパンニングツリープロトコルの有効または無効を表示します。

● LAN インフォメーション - IPv6

LANインフォメーション - IPv6

IPアドレス	N/A
リンクローカルアドレス	fe80::1e82:59ff:fe20:3c2a
ゲートウェイ	N/A
プライマリDNS	N/A
セカンダリDNS	N/A

- ・ IP アドレス：本製品の IPv6 アドレスを表示します。
- ・ リンクローカルアドレス：本製品のリンクローカル IPv6 アドレスを表示します。
- ・ ゲートウェイ：本製品の IPv6 デフォルトゲートウェイを表示します。
- ・ プライマリ DNS：本製品のプライマリ DNS サーバーの IPv6 アドレスを表示します。
- ・ セカンダリ DNS：本製品のセカンダリ DNS サーバーの IPv6 アドレスを表示します。

● ワイヤレス LAN インフォメーション - 2.4GHz

ワイヤレスLANインフォメーション - 2.4GHz

動作モード	アクセスポイント
ワイヤレスモード	802.11 ax/n/g/b
チャンネル帯域	20 MHz
チャンネル	2.452 GHz(チャンネル 9)
距離	1000 M

- ・ 動作モード：本製品の動作モードを表示します。
- ・ ワイヤレスモード：ワイヤレス通信のモードを表示します。
- ・ チャンネル帯域：チャンネル帯域を表示します。
- ・ チャンネル：使用しているチャンネルの周波数とチャンネル番号を表示します。
- ・ 距離：設定された距離を表示します。

●ワイヤレス LAN インフォメーション - 5GHz

ワイヤレスLANインフォメーション - 5GHz

動作モード	アクセスポイント
ワイヤレスモード	802.11 ax/ac/n/a
チャンネル帯域	80 MHz
チャンネル	5.500 GHz(チャンネル 100)
距離	1000 M

- ・動作モード：本製品の動作モードを表示します。
- ・ワイヤレスモード：ワイヤレス通信のモードを表示します。
- ・チャンネル帯域：チャンネル帯域を表示します。
- ・チャンネル：使用しているチャンネルの周波数とチャンネル番号を表示します。
- ・距離：設定された距離を表示します。

●統計 - アクセスポイント 2.4GHz/5GHz

統計 - アクセスポイント 2.4GHz/5GHz

プロファイル	SSID	セキュリティ	VID	802.1Q	RX(パケット)	TX(パケット)
#1		WPA2-Personal	-	無効	327.69 GB(3518 パケット)	1.51 TB(0 パケット)

- ・プロファイル：プロファイルの番号を表示します。
- ・SSID：SSID を表示します。
- ・セキュリティ：設定されたセキュリティを表示します。
- ・RX (パケット)：該当のインタフェースが受信した総バイト数とパケット数を表示します。
- ・TX (パケット)：該当のインタフェースが送信した総バイト数とパケット数を表示します。

4.2 接続

ワイヤレス接続の状態を表示します。

「概要」 - 「接続」 から表示します。下部の「リフレッシュ」をクリックすると表示が更新されます。

●接続リスト

アクセスポイント、WDS アクセスポイントモードの場合に表示されます。

接続リスト - 2.4GHz

SSID	MACアドレス	TX (KB)	RX (KB)	RSSI (dBm)	ブロック
------	---------	---------	---------	------------	------

接続リスト - 5GHz

SSID	MACアドレス	TX (KB)	RX (KB)	RSSI (dBm)	ブロック
Diatrend203C25_1	1c:82:59:20:3c:2c	8.2 MB	99 KB	-49dBm	<input type="button" value="切断"/>

リフレッシュ

- ・ SSID : クライアントが接続している SSID を表示します。
- ・ MAC アドレス : 接続されているクライアントの MAC アドレスを表示します。
- ・ TX (KB) : 本製品がクライアントに送信したデータのバイト数を表示します。
- ・ RX (KB) : 本製品がクライアントから受信したデータのバイト数を表示します。
- ・ RSSI (dBm) : クライアントから受信する信号強度 (Received Signal Strength Indication) を表示します。
- ・ ブロック : 「切断」をクリックすると、該当のクライアントの通信を強制的に切断します。

●接続ステータス

クライアントブリッジ、WDS ステーションモードの場合に表示されます。

接続ステータス - 5GHz

SSID	Diatrend203C25_1
BSSID	1C:82:59:20:3C:26
接続ステータス	接続
ワイヤレスモード	802.11 ax
接続チャンネル	5.180 GHz(チャンネル36)
セキュリティ	None
送信データレート(Mbps)	1201 Mb/s
ノイズレベル	-95 dBm
信号強度	-48 dBm

- ・ SSID : 接続している SSID を表示します。
- ・ BSSID : 接続している BSSID を表示します。
- ・ 接続ステータス : 接続の状態を表示します。
- ・ ワイヤレスモード : ワイヤレスモードを表示します。
- ・ 接続チャンネル : 接続している周波数とチャンネル番号を表示します。
- ・ セキュリティ : セキュリティを表示します。
- ・ 送信データレート (Mbps) : 送信データレートを表示します。
- ・ ノイズレベル : ノイズレベルを表示します。
- ・ 信号強度 : アクセスポイントの信号強度を表示します。

●WDS リンクリスト

WDS アクセスポイント、WDS ブリッジモードの場合に表示されます。

WDSリンクリスト - 5GHz

WDSリンクID#	MACアドレス	リンクステータス	RSSI(dBm)
#1	1c:82:59:20:3c:26	UP	-47

- ・ WDS リンク ID# : WDS リンク ID を表示します。
- ・ MAC アドレス : 接続先の MAC アドレスを表示します。
- ・ リンクステータス : 接続の状態を表示します。接続が確立されている場合 UP、されていない場合 DOWN と表示します。
- ・ RSSI (dBm) : 接続先から受信する信号強度 (Received Signal Strength Indication) を表示します。

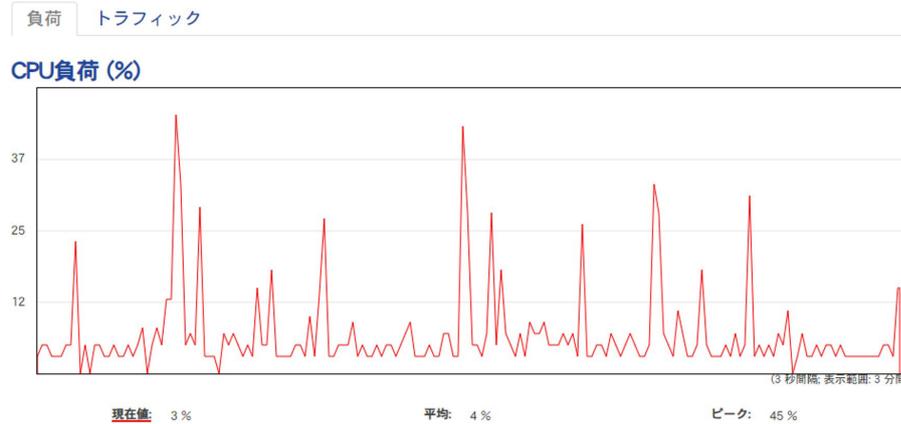
4.3 リアルタイム

CPU 負荷、各インタフェースのリアルタイムトラフィックを表示します。「概要」 - 「リアルタイム」 から表示します。

●負荷

「負荷」を選択すると CPU 負荷 (%) が表示されます。

3 秒間隔で更新され過去 3 分間の CPU 負荷が表示されます。下部には「現在値」、「平均」、「ピーク」が表示されます。

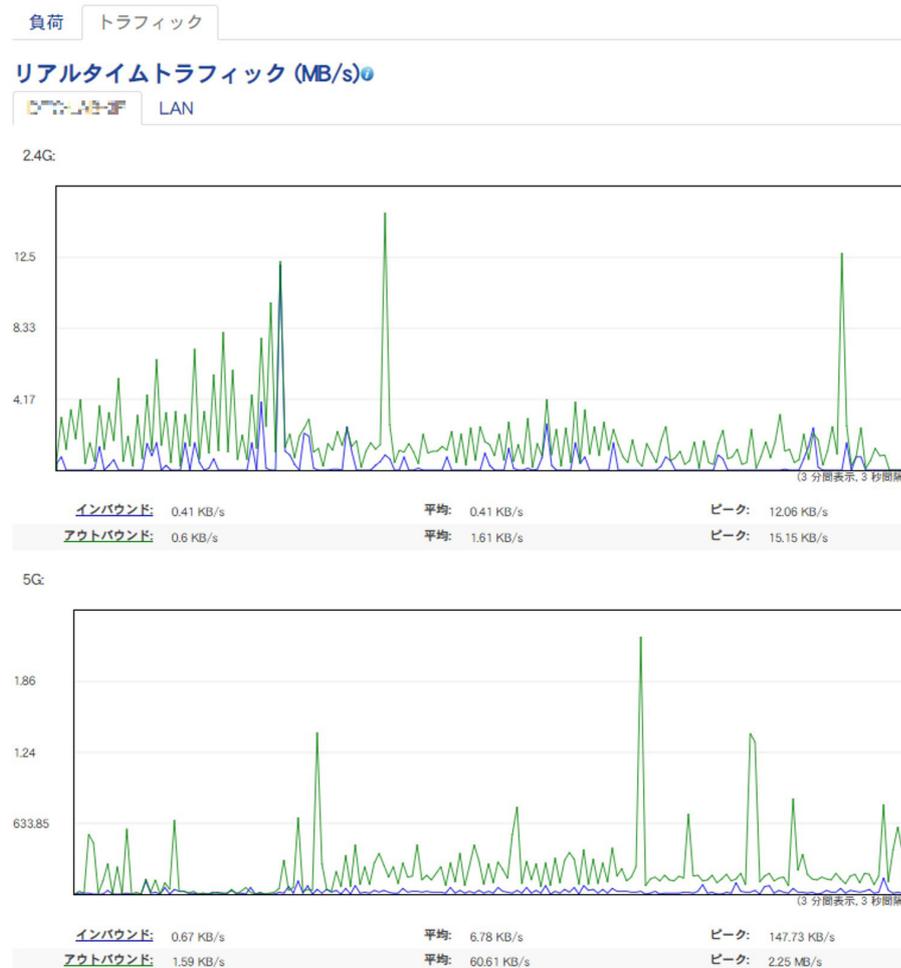


●トラフィック

各インタフェースのトラフィック量をリアルタイムに表示します。

画面上部に 2.4GHz・5GHz 無線の SSID、LAN ポートのタブが表示されます。複数の SSID を設定している場合はそれぞれの SSID のタブが表示されます。タブをクリックすると、該当の送信・受信トラフィック量がリアルタイムに表示されます。3 秒間隔で更新され過去 3 分間のリアルタイムトラフィックが表示されます。

下部にはインバウンド・アウトバウンドそれぞれの「現在値」、「平均」、「ピーク」が表示されます。



・インバウンド：本製品への受信トラフィックを青色の折れ線に表示します。

・アウトバウンド：本製品からの送信トラフィックを緑色の折れ線に表示します。

4.4 LED 表示

DAP-P3W6 の側面の LED は電源、通信状態を示します。
LED の表示内容は以下の通りです。

LED	状態	内容
	点灯	通電中
	消灯	非通電
LAN	点灯	LAN ポート接続中 (※)
	点滅	LAN ポート通信中
	消灯	LAN ポート未接続
2.4G	点灯	2.4GHz ワイヤレス有効
	点滅	2.4GHz ワイヤレス通信中
	消灯	2.4GHz ワイヤレス無効
5G	点灯	5GHz ワイヤレス有効
	点滅	5GHz ワイヤレス通信中
	消灯	5GHz ワイヤレス無効

電源投入後各インターフェースが有効になるまでに時間を要する場合があります。

(※) 専用 PoE アダプタのみ接続されている場合は点灯しません。

第 5 章 設定

設定を変更した後はページ下部の「保存」ボタンをクリックしてください。
保存した後、右下に表示される「適用」をクリックするか、右上の「変更」をクリックして「設定 / 変更」を開いてください。
「適用」をクリックすると設定が反映されます。その際、設定項目によっては再起動などで時間を要する場合があります。

変更の適用を待機中 (4)

適用 元に戻す

 **Diatrend Corp.** 日本語

DAP-P3W6 Dual Band Outdoor Access Point 変更: 4 リセット ログアウト

設定 / 変更

凡例:

- セクション追加 セクション削除 オプション変更 オプション削除

networklan
networklan.accept_ra=0
networklan.ipaddr=192.168.1.1
networklan.proto=static

dhcp6c.basic
dhcp6c.basic.enabled=0

適用 元に戻す

5.1 ネットワーク

5.1.1 基本

ネットワークの基本的なパラメータ設定を行います。「ネットワーク」-「基本」から設定します。

● IPv4 設定

IPv4 設定	
IPネットワーク設定	<input type="radio"/> DHCP <input checked="" type="radio"/> 静的IP
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.1.1"/>
プライマリDNS	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
セカンダリDNS	<input type="text" value="0.0.0.0"/>

- ・IP ネットワーク設定：「DHCP」を選択すると DHCP サーバーがネットワーク内にある場合に IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS、セカンダリ DNS が自動で割り当てられます。「静的 IP」を選択すると IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリ DNS、セカンダリ DNS を手動で設定します。IP アドレスはネットワーク内で競合しない IP アドレスを設定してください。
- (※) IP アドレスを変更すると DAP-P3W6 が再起動を行うため、新しいIP アドレスにアクセスできるようになるまで多少時間がかかることがあります。
- (※) 「DHCP」に設定して有効な DHCP サーバーから IP アドレスが取得できない場合は、一つ前に設定された静的 IP の設定が反映されます。工場出荷時は 192.168.1.1。

● IPv6 設定

IPv6 設定はローカルネットワークで使用する場合は特に設定を変更する必要はありません。

ネットワーク設定に詳しい管理者が必要に応じて設定してください。

IPv6 の設定を変更する場合は「IPv4 設定」の「IP ネットワーク設定」を「静的 IP」に設定してください。

IPv6 設定	
	<input checked="" type="checkbox"/> リンクローカルアドレス
IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットプレフィックス長	<input type="text"/>
ゲートウェイ	<input type="text"/>
プライマリDNS	<input type="text"/>
セカンダリDNS	<input type="text"/>

● スパニングツリープロトコル (STP) 設定

スパニングツリープロトコル (STP) は、ネットワーク内のブリッジ接続において、ブロードキャストストームやループによるネットワーク障害を防ぐためのプロトコルです。

STP は、複数のブリッジ (またはスイッチ) が接続されたネットワークにおいて、一つのループすることないパスを選択し、そのパス上で通信を行うことで、ループによる障害を防止します。

このため、STP はネットワーク内の冗長性を確保しつつ、安定した通信環境を実現することができます。

スパニングツリープロトコル(STP)設定

ステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ハロータイム	<input type="text" value="2"/> 秒 (1-10)
最大経過時間	<input type="text" value="20"/> 秒 (6-40)
転送遅延	<input type="text" value="15"/> 秒 (4-30)
優先度	<input type="text" value="32768"/> (0-65535)

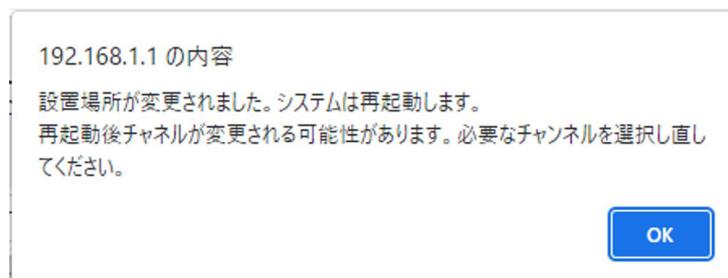
- ・ステータス：「有効」、「無効」を切り替えられます。デフォルト設定は「無効」です。
 - ・ハロータイム：ブリッジ間の通信を確立するためのブリッジプロトコルデータユニット (BPDU) の送信間隔。デフォルト設定は「2 秒」です。
 - ・最大経過時間：ここで設定した時間内にルートブリッジからBPDUを受け取らなければスパニングツリーを再計算します。デフォルト設定は「20 秒」です。
 - ・転送遅延：リスニング、ラーニング時に使用する待機時間。デフォルト設定は「15 秒」です。
 - ・優先度：ルートブリッジを決めるための優先度。小さいほど優先度が高く、ルートブリッジになる可能性が高くなる。デフォルト設定は「32768」
- (※) ハロータイム、最大経過時間、転送遅延が短いほど STP による経路の切り替えが早く行えますが、ネットワークに流れる BPDU パケットが増えたり、頻繁に STP の再計算が発生したりします。出来ればデフォルト設定のまま使用した方が安全です。設定変更する場合の指針としては、最大経過時間は転送遅延の 2 倍よりも小さく、ハロータイムの 2 倍より大きくしてください。

5.1.2 ワイヤレス

ワイヤレスインタフェースのパラメータを設定します。「ネットワーク」-「ワイヤレス」から設定します。ワイヤレス設定は DAP-P3W6 の動作モードにより設定内容が異なります。それぞれのモードに応じて設定してください。

ワイヤレス設定		
デバイス名	DAP-P3W6	
国 / 地域	Japan	
設置場所		
ステータス	<input type="radio"/> 屋内 <input checked="" type="radio"/> 屋外	
	2.4GHz (n/g/b)	5GHz (ax/ac/n/a)
動作モード	アクセスポイント	アクセスポイント
チャンネルHTモード	20MHz	80MHz
チャンネル	設定	
送信電力	自動	自動
ビットレート	設定	
クライアント数制限	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 127	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効 127
マルチキャスト・ユニキャストストリーム変換	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
AP検出	スキャン	スキャン
11axモード	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
距離(0-30km)	1 (0.6マイル)	1 (0.6マイル)

- デバイス名：32文字以内でデバイス名を設定します。
デフォルト設定は「DAP-P3W6」です。SNMP マネージャーなどで表示されます。
- 国 / 地域：「Japan」のみが有効で変更はできません。
DAP-P3W6 は日本国内の電波法により認証を受けたものであるため海外では使用できません。
- 設置場所：ステータス：DAP-P3W6 を設置する場所を「屋内」、「屋外」で設定します。デフォルト設定は「屋外」です。電波法により 5.2GHz (U-NII-1:Ch 36 ~ 48) および 5.3GHz (U-NII-2A:Ch 52 ~ 64) 帯域の屋外使用が禁止されているため「屋外」に設定すると 5.2GHz および 5.3GHz 帯のチャンネルを選択できなくなります。また設定を変更するとシステムは再起動し、再起動後設定していたチャンネルが変更される可能性があるため再度チャンネルを選択し直してください。



- 動作モード：動作モードは「アクセスポイント」、「クライアントブリッジ」、「WDS アクセスポイント」、「WDS ブリッジ」、「WDS ステーション」が選択できます。
2.4GHz、5GHz のいずれか 1 つは「アクセスポイント」にする必要があります。
- ・アクセスポイント
DAP-P3W6 は無線親機として、他のワイヤレスデバイスからの接続を受信します。SSID は最大 8 個まで設定できます。
- ・クライアントブリッジ
無線子機（ステーションまたはコンバーター）としてアクセスポイント等、その周囲にあるワイヤレスネットワークに接続します。
- ・WDS アクセスポイント
アクセスポイントの機能を有しつつ、WDS (Wireless Distribution System) 機能でアクセスポイント同士を接続することができます。WDS アクセスポイント、WDS ブリッジに設定した DAP-P3W6 とそれぞれの MAC アドレスを登録することにより接続することができます。アクセスポイントの SSID は最大 4 個、WDS リンク設定の MAC アドレスは最大 4 個まで設定できます。このモードを使用する際はチャンネルを固定する必要があります。
- ・WDS ブリッジ
WDS 機能で DAP-P3W6 同士をブリッジ接続できます。WDS アクセスポイント、WDS ブリッジに設定した DAP-P3W6 の MAC アドレスを最大 8 個設定することができます。このモードを使用する際はチャンネルを固定する必要があります。
- ・WDS ステーション
WDS の拡張機能で無線子機として WDS アクセスポイントに接続することができます。

- チャンネル HT モード：チャンネルの帯域幅を設定します。
帯域幅を広いほど伝送品質と速度が向上しますがより多くの帯域幅を使用するため干渉を引き起こす可能性が高くなります。デフォルト設定は 2.4GHz で「20MHz」、5GHz で「80MHz」です。
 - チャンネル：適切なチャンネルを選択することにより周囲の電波との干渉を防ぐことができます。「設定」をクリックするとチャンネルを設定するための新しいウィンドウが表示されます。使用するチャンネルを選択後、「保存」をクリックしてください。複数のチャンネルが選択されていると、選択した中から自動でチャンネルが選択されます。
WDS アクセスポイント、WDS ブリッジの場合は 1 つのチャンネルのみ選択可能です。
WDS で接続するデバイスは同じチャンネルに設定してください。
クライアントブリッジ、WDS ステーションの場合は自動で接続先のチャンネルに合わせるのでチャンネルの設定を行うことはできません。
- (※) 5GHz 帯を使用する場合、5.2GHz (U-NII-1:Ch 36 ~ 48)、5.3GHz (U-NII-2A:Ch 52 ~ 64) 帯域の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。また 5.3GHz、5.6GHz (U-NII-2C : Ch 100 ~ 140) 帯域の電波を使用する場合は気象レーダーなどの干渉を避けるための DFS 機能により一時的に通信が途切れる可能性があります。また DFS でレーダーを検知した際空いているチャンネルに変更されます。WDS アクセスポイント、WDS ブリッジの場合、接続相手のデバイスと異なるチャンネルになり接続ができなくなる可能性があります。
WDS を使用される際は 2.4GHz 及び 5.2GHz 帯の使用を推奨します。

2.4GHz		5GHz	
すべて	None	すべて	None
1,6,11	1,4,8,11	U-NII-1	U-NII-2A
1,7,13	1,5,9,13	U-NII-2B	
Ch 1 : 2.412 GHz	Ch 2 : 2.417 GHz	Ch 36 : 5.180 GHz	Ch 40 : 5.200 GHz
Ch 3 : 2.422 GHz	Ch 4 : 2.427 GHz	Ch 44 : 5.220 GHz	Ch 48 : 5.240 GHz
Ch 5 : 2.432 GHz	Ch 6 : 2.437 GHz	Ch 52 : 5.260 GHz (DFS)	Ch 56 : 5.280 GHz (DFS)
Ch 7 : 2.442 GHz	Ch 8 : 2.447 GHz	Ch 60 : 5.300 GHz (DFS)	Ch 64 : 5.320 GHz (DFS)
Ch 9 : 2.452 GHz	Ch 10 : 2.457 GHz	Ch 100 : 5.500 GHz (DFS)	Ch 104 : 5.520 GHz (DFS)
Ch 11 : 2.462 GHz	Ch 12 : 2.467 GHz	Ch 108 : 5.540 GHz (DFS)	Ch 112 : 5.560 GHz (DFS)
Ch 13 : 2.472 GHz		Ch 116 : 5.580 GHz (DFS)	Ch 120 : 5.600 GHz (DFS)
		Ch 124 : 5.620 GHz (DFS)	Ch 128 : 5.640 GHz (DFS)

保存 現在の設定を保存

- 送信電力：電波の送信電力の最大値を選択します。
送信電力が大きい方が伝送品質と速度が向上しますが、同じチャンネルを使用する複数のアクセスポイントが近接して設置されている場合、干渉を引き起こす可能性が高くなります。
- ビットレート：「設定」をクリックするとビットレートの下限値を設定するための新しいウィンドウが開きます。バー上の数値を選択し「保存」をクリックしてください。

2.4GHz

最低ビットレート(Mbps)

低データレート

高データレート



5GHz

最低ビットレート(Mbps)

低データレート

高データレート



保存 現在の設定を保存

- クライアント数制限：「有効」にすると接続されるクライアント端末の最大数は設定した数になります。デフォルト設定は「127」です。設定範囲は 1 ~ 127 です。「無効」にすると最大 512 台（理論値）までクライアントを接続することができます。
- マルチキャスト・ユニキャストストリーム変換：無線でマルチキャストパケットを送信する場合は最遠端に存在するデバイスが誤りなく受信できるよう低速で送信されます。多くのクライアントがアクセスポイントからある程度の距離にある場合には効果的ですがほとんどのクライアントがアクセスポイントの近くに存在する場合多くのクライアントでは通信可能な速度より低速で通信することになります。そこでこの機能を「有効」にするとマルチキャストをユニキャストに変換することによりアクセスポイントの近くにいるクライアントには高い伝送速度で通信できるようになります。ただし、複数のクライアントに対して個別にストリームを送信することになるためネットワークの負荷が増加する可能性があります。デフォルト設定は「有効」です。

- AP 検出：「スキャン」をクリックすると新しいウィンドウが開き近隣のアクセスポイントの SSID、使用チャンネル、信号レベルの一覧が表示されます。チャンネルや送信電力を設定する際の参考になります。クライアントブリッジ、WDS ステーションモードの際は一覧から接続先のアクセスポイントを選択することができます。
- 11ax モード：2.4GHz に対する設定で 11ax の有効・無効を切り替えることができます。デフォルト設定は「無効」です。古い装置などで 11ax での接続に問題が発生する場合はこの機能を「無効」にしてください。
- 距離（0-30km）：長距離での通信時にデータの再送信を行う可能性を減少させます。2つのノードの距離を指定することで、自動的に ACK タイムアウトの値を適切な値に調整します。デフォルト設定は「1」km です。
- ワイヤレス設定 - アクセスポイント：最大 8 個の異なる SSID を設定することができます。「編集」をクリックすると詳細設定を行う新しいウィンドウが開きます。

ワイヤレス設定 - アクセスポイント

有効	SSID	2.4GHz	5GHz	編集	セキュリティ	ゲストネットワーク	VLAN ID
<input checked="" type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-
<input type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-
<input type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-
<input type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-
<input type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_5	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-
<input type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_6	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-
<input type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_7	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-
<input type="checkbox"/>	Diatrend203C2B_8	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	編集	None	<input type="checkbox"/>	-

ワイヤレス設定 - アクセスポイント 2.4GHz/5GHz

有効	<input checked="" type="checkbox"/> 2.4G <input checked="" type="checkbox"/> 5G
SSID	<input type="text" value="Diatrend203C2B_1"/>
ステルスSSID	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
クライアントアイソレーション	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
VLANアイソレーション	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 ID: <input type="text" value="1"/> (1~4094)
L2 アイソレーション	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効

- ・有効：使用するインタフェースを選択します。
- ・SSID：SSID (Service Set Identifier) を設定します。デフォルト設定は「Diatrend + 2.4GHz の MAC アドレス末尾 6 桁 + _連番」です。
- ・ステルス SSID：SSID をブロードキャストするかを選択します。「有効」にするとビーコン信号に SSID を含みません。クライアントの接続設定で本製品の SSID は表示されません。クライアントを本製品に接続するためには、クライアントに SSID を手入力しなければなりません。デフォルト設定は「無効」です。
- ・クライアントアイソレーション：「有効」にすると同じ無線 LAN に接続されたクライアント間の通信を遮断します。デフォルト設定は「無効」です。
- ・VLAN アイソレーション：SSID プロファイルで VLAN ID を指定してこのオプションを「有効」にすると、この SSID からのトラフィックは LAN ブリッジに入るときにこの VLAN ID でタグ付けされます。デフォルト設定は「無効」です。
- ・L2 アイソレーション：「有効」にすると同一ネットワーク内の異なるアクセスポイントに接続しているクライアント同士の通信を遮断します。

Band Steering

ステータス	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
バンドステアリング	優先 5GHz 5GHz RSSI <input type="text" value="-75"/> dBm

- ・ステータス：バンドステアリングの有効・無効を設定します。デフォルト設定は「無効」です。
- ・バンドステアリング：5GHz 対応のクライアントが AP の 5GHz 帯の無線に接続できるようにし、2.4GHz 帯の電波利用の負荷を減らすことで、電波の有効利用を促進する機能です。「優先 5GHz」、「強制 5GHz」、「バンドバランス」の 3 つのモードを選択できます。「5GHz RSSI」はデュアルバンドワイヤレスクライアントが 5GHz 帯にアソシエイトするために必要な最小の受信信号強度インジケータ (RSSI) の値を入力します。クライアントの RSSI 値がこの閾値を下回ると、2.4GHz 帯にしか接続できなくなります。推奨値は、-80 ~ -60 です。

ワイヤレスセキュリティ

セキュリティモード

- セキュリティモード：「None」、「OWE」、「WPA2-Personal」、「WPA3-Personal」、「WPA2/WPA3-Personal」、「WPA2-Enterprise」、「WPA3-Enterprise」、「WPA2/WPA3-Enterprise」が選択可能です。各モードを選択すると追加設定が表示されます。

Radius設定

NAS-ID

NAS-PORT (0 ~ 65535)

NAS-IP

Radiusアカウントティング

Radiusアカウントティング 有効 無効

Radiusアカウントティングサーバー

Radiusアカウントティングポート

Radiusアカウントティング秘密鍵

中間アカウントティング間隔

- Radius 設定：セキュリティモードで「WPA2-Enterprise」、「WPA3-Enterprise」、「WPA2/WPA3-Enterprise」を選択した場合に設定してください。

高速ローミング

ステータス 有効 無効

- 高速ローミング：セキュリティモードが WPA2-Personal、WPA2-Enterprise の場合表示されます。同じ ESS WLAN 内のアクセスポイント間でクライアントのローミングを容易にする機能です。
- ステータス：高速ローミングの有効・無効を設定します。

ワイヤレスMACフィルター

ACLモード

No.	MACアドレス
	<input type="text"/> : <input type="text"/>

- ACL モード：ACL (Access Control List) モードを選択します。「無効」を選択した場合、ワイヤレス MAC フィルターは無効になります。「リスト内 MAC 許可」を選択した場合、登録された MAC アドレスからの接続のみ許可します。「リスト内 MAC 拒否」を選択した場合、登録された MAC アドレスからの接続を拒否します。MAC アドレスを入力して「追加」をクリックすると最大 32 個の MAC アドレスを登録できます。

ワイヤレストラフィックシェーピング

ステータス 有効 無効

ダウンロード制限 Mbps 1ユーザーあたり
Mbps (1-999)

アップロード制限 Mbps 1ユーザーあたり
Mbps (1-999)

- ステータス：無線帯域制限の有効・無効を選択します。デフォルト設定は「無効」です。
- ダウンロード制限：本製品からクライアントへの通信速度の制限値を設定します。
- アップロード制限：クライアントから本製品への通信速度の制限値を設定します。

ワイヤレス設定 - 2.4GHz

SSID	編集	セキュリティ
<input type="text" value="AP SSID"/>	<input type="button" value="編集"/>	None

クライアントブリッジモードを選択した場合の設定です。
上図は 2.4GHz の場合ですが 5GHz も同様の設定です。
接続するアクセスポイントの SSID を入力してください。
「編集」をクリックすると新しいウィンドウが開き詳細設定を行うことができます。

ワイヤレスセキュリティ

優先 BSSID [] : [] : [] : [] : [] : []

SSID

ワイヤレスセキュリティ

セキュリティモード ▼

保存 現在の設定を保存

- ・優先 BSSID：チェックを入れると同じ SSID のアクセスポイントが複数ある際に優先して接続するアクセスポイントを指定することができます。優先したいアクセスポイントの BSSID（MAC アドレス）を設定してください。
- ・SSID：接続する SSID を入力してください。前の画面でも設定できます。
- ・セキュリティモード：接続するアクセスポイントに合わせて設定してください。

「保存」をクリックすると画面が閉じ、設定が保存されます。

ワイヤレス設定 - 2.4GHz

有効	SSID	編集	セキュリティ	VLAN ID
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="text" value="Diatrend203C2B_1"/>	<input type="button" value="編集"/>	None	-
<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="Diatrend203C2B_2"/>	<input type="button" value="編集"/>	None	-
<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="Diatrend203C2B_3"/>	<input type="button" value="編集"/>	None	-
<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="Diatrend203C2B_4"/>	<input type="button" value="編集"/>	None	-

WDSリンク設定 - 2.4GHz

セキュリティ ▼

AESパスフレーズ

(ASCII 8 ~ 63文字もしくは16進数 64桁)

MACアドレス	ワイヤレスモード	モード
[] : [] : [] : [] : [] : []	802.11ax ▼	無効 ▼
[] : [] : [] : [] : [] : []	802.11ax ▼	無効 ▼
[] : [] : [] : [] : [] : []	802.11ax ▼	無効 ▼
[] : [] : [] : [] : [] : []	802.11ax ▼	無効 ▼

WDS アクセスポイントモードを選択した場合の設定です。

上図は 2.4GHz の場合ですが 5GHz も同様の設定です。

「ワイヤレス設定」はアクセスポイントモードの設定内容と「ゲストネットワーク」以外は同じです。

「WDS リンク設定」のセキュリティは WDS 接続する WDS アクセスポイント、WDS ブリッジのセキュリティ設定と合わせてください。

接続機器の MAC アドレスは 4 個まで設定可能です。選択した周波数の MAC アドレスを登録してください。

モードを「有効」にすると MAC アドレスを入力できます。

WDSリンク設定 - 2.4GHz

セキュリティ	None	
AESパスフレーズ	(ASCII 8 ~ 63文字もしくは16進数 64桁)	
MACアドレス	ワイヤレスモード	モード
: : : : : :	802.11ax	無効
: : : : : :	802.11ax	無効
: : : : : :	802.11ax	無効
: : : : : :	802.11ax	無効
: : : : : :	802.11ax	無効
: : : : : :	802.11ax	無効
: : : : : :	802.11ax	無効
: : : : : :	802.11ax	無効

WDSブリッジモードを選択した場合の設定です。
 上図は2.4GHzの場合ですが5GHzも同様の設定です。
 「WDSリンク設定」はWDSアクセスポイントモードの時と同じです。8個までMACアドレスを登録できます。
 モードを「有効」にするとMACアドレスを入力できます。

ワイヤレス設定 - 2.4GHz

SSID	編集	セキュリティ
Diatrend	編集	None

WDSステーションモードを選択した場合の設定です。
 上図は2.4GHzの場合ですが5GHzも同様の設定です。
 設定内容はクライアントブリッジモードの設定内容と同じです。

ゲストネットワークDHCPサーバー設定

手動IP設定	
- IPアドレス	192.168.200.1
- サブネットマスク	255.255.255.0
自動DHCPサーバー設定	
- 開始IPアドレス	192.168.200.100
- 終了IPアドレス	192.168.200.200
- WINSサーバーIP	0.0.0.0

「ワイヤレス設定 - アクセスポイント」の設定で「ゲストネットワーク」にチェックを入れると「ゲストネットワークDHCPサーバー設定」が有効になります。

管理VLAN設定

ステータス	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	4094
注意: 設定中に切断の問題が発生した場合は、スイッチとDHCPサーバーが新しいVLAN IDをサポートできることを確認し、新しいIPアドレスに接続してください。		

管理VLANを設定できます。

5.2 メッシュ

メッシュ接続の状態の確認、設定を行います。メッシュ接続は複数のアクセスポイントを接続し、最適な経路を選択し高速で安定した無線 LAN 接続を実現する技術です。

広い範囲にわたる無線 LAN 通信を提供する場合に効果的で、ネットワークの拡張やトラブルシューティングが容易になります。

5.2.1 ステータス

メッシュ接続の状態の確認を行います。「メッシュ」 - 「ステータス」から確認できます。

下部の「リフレッシュ」をクリックするとステータスが更新されます。

ステータス

メッシュステータス	有効
メッシュインタフェース	5GHz
メッシュID	12345678
メッシュチャンネル	auto
メッシュタイプ	ルートノード

メッシュデバイスリスト

ノード	MACアドレス	IPアドレス
DAP-P3W6	22:82:59:20:3C:29	192.168.1.3
DAP-P3W6	22:82:59:20:3C:26	192.168.1.2

リフレッシュ

●ステータス

- ・メッシュステータス：メッシュ設定が「有効」か「無効」かを表示します。
- ・メッシュインタフェース：メッシュで使用されているバンド(帯域)を表示します。「2.4GHz」か「5GHz」かが表示されます。
- ・メッシュID：メッシュIDを表示します。
- ・メッシュチャンネル：メッシュで使用されているチャンネルを表示します。
チャンネル設定で複数選択されている場合は「auto」と表示されます。
- ・メッシュタイプ：本製品に割り当てられたタイプ(役割)を表示します。
「ルートノード」と「メッシュノード」の2つのタイプがあります。
「ルートノード」は有線で外部ネットワークに接続しユーザーをインターネットに接続することができます。「メッシュノード」は他のノードと無線で接続されていてデータの中継を行います。

●メッシュデバイスリスト

接続されているメッシュデバイスをリストで表示します。

- ・ノード：ノードのデバイス名を表示します。
- ・MACアドレス：ノードのMACアドレスを表示します。実際のインタフェースのMACアドレスの先頭の2桁(16進数)に6を足したMACアドレスを表示します。
- ・IPアドレス：ノードのIPアドレスを表示します。

5.2.2 設定

メッシュ設定を行えます。「メッシュ」-「設定」から設定します。
設定が完了したら「保存」をクリックしてください。
「キャンセル」をクリックすると設定値が元に戻ります。

メッシュ設定	
メッシュ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
動作モード	<input checked="" type="radio"/> メッシュAP <input type="radio"/> メッシュポイント
メッシュデバイス名	DAP-P3W6
メッシュバンド	<input type="radio"/> 2.4GHz <input checked="" type="radio"/> 5GHz
メッシュID	<input type="text" value="12345678"/>
パスワード	<input type="text" value="1234567890"/>
メッシュRSSI	<input type="text" value="-80"/> (dBm)

●メッシュ設定

- メッシュ：メッシュ機能の有効・無効を設定します。デフォルト設定は「無効」です。
(※)メッシュ機能を有効にする場合、2.4GHz/5GHzともに動作モードは必ず「アクセスポイント」でなければなりません。
- 動作モード：「メッシュ AP」の場合アクセスポイントとしても動作し、「メッシュポイント」の場合中継機として動作します。
- メッシュバンド：メッシュで使用する帯域を選択します。
- メッシュID：メッシュIDを設定します。0～9の数字8文字で設定してください。ただし「000000000」は設定できません。
- パスワード：メッシュ接続のためのパスワードを設定します。8～63文字の間で設定してください。
- メッシュRSSI：ノードの信号強度が連続的にここで設定した値以下になるとメッシュとのリンクが許可されなくなります。

5.2.3 ツール

メッシュ接続の状態を各ツールで確認できます。「メッシュ」-「ツール」から確認します。

●ノードリスト

ノードリスト | リンクステータス | Ping | Trace Route | スループット

メッシュID:12345678 ⓘ

リフレッシュ

3 ノード | 1 ルートノード

ノード	タイプ	ホップ数 ⓘ	隣接ノード ⓘ	(RSSI)	信号強度 ⓘ
DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:2C)	ルートノード ⓘ	-	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26)	-57	🟢
			DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29)	-52	🟢
DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26)	メッシュノード ⓘ	1	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:2C)	-54	🟢
			DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29)	-63	🟡
DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29)	メッシュノード ⓘ	1	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:2C)	-55	🟢
			DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26)	-63	🟡

- ・ノード：メッシュ内のノードの一覧を表示します。
- ・タイプ：ノードが「ルートノード」か「メッシュノード」を表示します。
- ・ホップ数：メッシュノード自身とルートノードとの間でデータが通過しなければならない中間装置の数を表示します。ホップ数の値が3以上の場合、デバイスの設置位置を最適化することをお勧めします。ノードがルートもしくは単独ノードの場合、「-」を表示します。
- ・隣接ノード：個々のノードが発見した隣接ノードをその信号強度がリンク可能かどうかに関係なく表示します。
- ・RSSI：隣接ノードの信号強度を数値で表示します。
- ・信号強度：RSSIを4段階のシグナルバーで表示し、RSSIが-76dBm以下の場合、赤いバーが表示されます。

●リンクステータス

ノードリスト | **リンクステータス** | Ping | Trace Route | スループット

Mesh View ⓘ

到達不可能メッシュノード	RSSI	検出ノード
DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26)	-92	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29)
DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29)	-92	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26)

ノードの信号強度が連続的に-80以下の場合、メッシュとのリンクは許可されません。

- ・Mesh View：任意のメッシュノード（黒）にマウスオーバーすると他のメッシュノード（青）と緑の線でリンクしている状態が表示されます。
- ・到達不可能メッシュノード：隣接ノードとの信号強度が本マニュアルの「5.2.2 設定（メッシュ）」で設定した「メッシュRSSI」以下になったメッシュノードを表示します。この場合メッシュとのリンクは許可されません。

● Ping

メッシュノード間で Ping テストを行い、ネットワークの接続品質を分析することができます。「スタート」をクリックするとテストが開始され右側に結果が表示されます。

ノードリスト リンクステータス **Ping** Trace Route スループット

Pingテストパラメータ

送信元	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29) ▼ DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29) DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26) DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:2C)	宛先	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:2C) ▼
Ping回数	<input type="text" value="4"/>		
<input type="button" value="スタート"/>		<pre>PING 22:82:59:20:3c:2c (22:82:59:20:3c:2c) 20(48) bytes of data 20 bytes from 22:82:59:20:3c:2c icmp_seq=1 ttl=50 time=2.93 ms 20 bytes from 22:82:59:20:3c:2c icmp_seq=2 ttl=50 time=3.50 ms 20 bytes from 22:82:59:20:3c:2c icmp_seq=3 ttl=50 time=2.69 ms 20 bytes from 22:82:59:20:3c:2c icmp_seq=4 ttl=50 time=1.80 ms -- 22:82:59:20:3c:2c ping statistics -- 4 packets transmitted, 4 received, 0% packet loss rtt min/avg/max/mdev = 1.803/2.728/3.495/0.610 ms</pre>	

- ・送信元：Ping の送信元のノードを一覧から選択します。
- ・宛先：Ping の宛先のノードを一覧から選択します。
- ・Ping 回数：Ping の送信回数を設定します。デフォルト設定は「4」です。1～10 の値で設定してください。

● Trace Route

メッシュノード間の経路情報を表示します。「スタート」をクリックするとテストが開始され右側に結果が表示されます。

ノードリスト リンクステータス Ping **Trace Route** スループット

Tracerouteテストパラメータ

送信元	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26) ▼	宛先	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29) ▼
<input type="button" value="スタート"/>		<pre>traceroute to fc00:2082:59ff:fe20:3c:29 (22:82:59:20:3c:29), 50 hops max, 20 byte packets 1: 22:82:59:20:3c:29 4.943 ms 2.514 ms 2.629 ms</pre>	

- ・送信元：送信元のノードを一覧から選択します。
- ・宛先：宛先のノードを一覧から選択します。

● スループット

メッシュノード間のスループット（通信速度）をテストします。「スタート」をクリックするとテストが開始され下に結果が表示されます。

ノードリスト リンクステータス Ping Trace Route **スループット**

スループットテスト

DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:26) ▼	と	DAP-P3W6 (22:82:59:20:3C:29) ▼	<input type="button" value="スタート"/>
292 Mbits/sec	↔	292 Mbits/sec	

5.3 管理

SNMP 設定、CLI 設定などの高度な設定や時刻設定、スケジューラー設定などを行います。

5.3.1 アドバンスド

SNMP 設定、CLI 設定などの高度な設定を行います。「管理」-「アドバンスド」から確認できます。

● SNMP 設定

DAP-P3W6はネットワークに接続されたデバイスを監視するために使用されるネットワーク管理プロトコルSNMP(Simple Network Management Protocol) に対応しています。このページでは SNMP で必要なパラメータを設定します。

SNMP設定	
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
コンタクト	<input type="text"/>
ロケーション	<input type="text"/>
コミュニティ名 (読み取り専用)	<input type="text" value="public"/>
コミュニティ名 (読み書き可)	<input type="text" value="private"/>
トラップ送信先	
- ポート	<input type="text" value="162"/>
- IPアドレス	<input type="text"/>
- コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>
SNMPv3設定	
- ステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
- ユーザー名	<input type="text" value="admin"/> (1~31文字)
- 認可プロトコル	<input type="text" value="MD5"/> ▼
- 認可キー	<input type="text" value="12345678"/> (8~32文字)
- プライベートプロトコル	<input type="text" value="DES"/> ▼
- プライベートキー	<input type="text" value="12345678"/> (8~32文字)
- エンジンID	<input type="text"/>

● CLI 設定

CLI設定

ステータス 有効 無効

・ステータス: コマンドラインインタフェース (CLI) の「有効」・「無効」を設定します。デフォルト設定は「有効」です。CLI を有効にすると TELNET や SSH で接続しコマンドで各種設定を行えます。

● TELNET 設定

TELNET設定

ステータス 有効 無効

・ステータス: TELNET の「有効」・「無効」を設定します。デフォルト設定は「有効」です。

● SSH 設定

SSH設定

ステータス 有効 無効

・ステータス: SSH の「有効」・「無効」を設定します。デフォルト設定は「無効」です。

● HTTPS 設定

HTTPS設定

ステータス 有効 無効

HTTPSフォワード 有効 無効

・ステータス: HTTPS アクセスの「有効」・「無効」を設定します。デフォルト設定は「有効」です。
・HTTPS フォワード: HTTPS ステータスが「有効」の場合、HTTP での接続も HTTPS へリダイレクトされます。デフォルト設定は「無効」です。

● Eメールアラート

Eメールアラートを「有効」にすると設定が変更された際、指定されたメールアドレスにEメールアラートを送信することができます。デフォルト設定は「無効（チェック無し）」です。

注意：送信用のメールアドレスは不必要に個人的な認証情報の流出を防ぐため個人的なメールアドレスを使用しないでください。この機能専用のメールアドレスを使用してください。

Eメールアラート

ステータス	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
- 送信元	<input type="text"/>
- 宛先	<input type="text"/>
- 件名	[Email-Alert][DAP-P3W6][10:8]
Eメールアカウント	
- ユーザー名	<input type="text"/>
- パスワード	<input type="password"/> 
- SMTPサーバー	<input type="text"/> ポート: 25
- セキュリティモード	None <input type="button" value="テストメール送信"/>

● Ping ウォッチドッグ

指定した IP アドレスに Ping を送信し、接続状態のチェックを行います。

指定した回数の Ping に失敗した場合、Ping ウォッチドッグによりデバイスを再起動します。

Pingウォッチドッグ

ステータス	<input type="checkbox"/> 有効
- Ping送信先IPアドレス	<input type="text"/>
- 再起動までの失敗回数	3
Ping間隔	300 秒
スタートアップ遅延	300 秒

- ・ステータス:チェックを入れると Ping ウォッチドッグを「有効」にします。デフォルト設定は「無効(チェック無し)」です。
- ・Ping 送信先 IP アドレス: 指定した IP アドレスに Ping を送信します。
- ・再起動までの失敗回数: Ping 送信の結果、タイムアウトパケットを受信した回数が指定回数に達すると、自動的にデバイスが再起動されます。
- ・Ping 間隔: 指定した間隔で Ping を送信します。
- ・スタートアップ遅延: 再起動後、DAP-P3W6 の初期化が完了する前に再び再起動しないよう、スタートアップ遅延時間を指定します。

5.3.2 タイムゾーン

時刻設定、タイムゾーン設定を行います。「管理」 - 「タイムゾーン」から確認できます。

●時刻設定

時刻設定

<input type="radio"/> 時刻手動設定
日付: 2023 / 01 / 05
時刻 12 : 06 (24時間表示)
<input type="button" value="PCと同期"/>
<input checked="" type="radio"/> 時刻自動取得
NTPサーバー: pool.ntp.org

- ・時刻手動設定：入力した値で時刻設定を行います。
「PC と同期」をクリックすると設定に使用しているパソコンの時刻で DAP-P3W6 の時刻を設定します。
- ・時刻自動設定：指定した NTP サーバーにアクセスし自動で時刻を設定します。
デフォルトの NTP サーバーは「pool.ntp.org」です。

●タイムゾーン

タイムゾーン

タイムゾーン: UTC+09:00 Japan, Korea
<input type="checkbox"/> サマータイム有効
開始: 1月 第1 日曜日 00:00
終了: 1月 第1 月曜日 00:00

- ・タイムゾーン：タイムゾーンを選択します。デフォルトの設定は「UTC+09:00 Japan, Korea」です。
- ・サマータイム有効：チェックを入れると指定した期間サマータイムが「有効」になります。(1時間早くなります。)デフォルトの設定は「無効 (チェック無し)」です。
- ・開始：サマータイムの開始日時を設定します。
- ・終了：サマータイムの終了日時を設定します。

5.3.3 Wi-Fi スケジューラー

自動再起動設定、Wi-Fi スケジューラー設定を行います。「管理」 - 「Wi-Fi スケジューラー」から確認できます。

●自動再起動設定

設定した曜日、時間に本製品を自動的に再起動します。

これにより、利用者がいなくなる時間帯に本製品を再起動することで、安定したサービスを行うことができます。

自動再起動設定

ステータス	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
タイマー	<input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> 月曜日 <input type="checkbox"/> 火曜日 <input type="checkbox"/> 水曜日 <input type="checkbox"/> 木曜日 <input type="checkbox"/> 金曜日 <input type="checkbox"/> 土曜日
	0 : 0

- ・ステータス：自動再起動設定の「有効」・「無効」を設定します。デフォルト設定は「無効」です。
- ・タイマー：自動再起動する曜日と時刻を設定します。

●Wi-Fi スケジューラー

あらかじめ設定したスケジュールに従って、特定の SSID へのアクセスを有効化 / 無効化させることができます。

利用者がいなくなる夜間や週末などに、不要な電波を止めることでセキュリティ上の懸念を減少させることができます。

Wi-Fi スケジューラー

ステータス	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効 <small>注意:Wi-Fiスケジューラーを有効にする際は、タイムゾーンの設定がローカルタイムに同期していることを確認してください。</small>
SSID選択	AP - Diatrend203C2B_1
スケジュールテンプレート	テンプレート選択

	曜日	利用可能	期間
スケジュールテーブル	日曜日	利用可能	00:00 ~ 24:00
	月曜日	利用可能	00:00 ~ 24:00
	火曜日	利用可能	00:00 ~ 24:00
	水曜日	利用可能	00:00 ~ 24:00
	木曜日	利用可能	00:00 ~ 24:00
	金曜日	利用可能	00:00 ~ 24:00
	土曜日	利用可能	00:00 ~ 24:00

- ・ステータス：Wi-Fi スケジューラーの「有効」・「無効」を設定します。デフォルト設定は「無効」です。
- ・SSID 選択：Wi-Fi スケジューラーを有効にするアクセスポイントの SSID を選択します。
- ・スケジュールテンプレート：「常時利用可」、「毎日 8-17 時利用可」、「週末を除く毎日 8-17 時利用可」、「カスタムスケジュール」からテンプレートを選択できます。
選択すると下の「スケジュールテーブル」がテンプレートに合わせて変更されます。
- ・スケジュールテーブル：各曜日で指定した期間を「利用可能」または「利用不可」に設定できます。

5.3.4 ツール

Ping、Traceroute、スピードテストなどの回線品質の管理に便利なツールを実行できます。「管理」 - 「ツール」から実行できます。

● Ping

「スタート」をクリックすると指定したターゲットに対して Ping テストを行います。

Ping Traceroute Nslookup **スピードテスト** デバイス検出

Pingテストパラメータ

ターゲットIP / ドメイン名	<input type="text" value="google.co.jp"/>
Pingパケットサイズ	<input type="text" value="64"/> バイト
Ping回数	<input type="text" value="4"/>

```
PING google.co.jp (142.251.222.35): 64 data bytes
72 bytes from 142.251.222.35: seq=0 ttl=55 time=17.526 ms
72 bytes from 142.251.222.35: seq=1 ttl=55 time=9.521 ms
72 bytes from 142.251.222.35: seq=2 ttl=55 time=9.276 ms
72 bytes from 142.251.222.35: seq=3 ttl=55 time=9.027 ms

-- google.co.jp ping statistics --
4 packets transmitted, 4 packets received, 0% packet loss
round-trip min/avg/max = 9.027/11.337/17.526 ms
```

- ・ターゲット IP / ドメイン名 : Ping を送るターゲットを IP アドレスまたはドメイン名で設定します。
- ・Ping パケットサイズ : Ping のパケットサイズを設定します。64 ~ 20480 バイトの範囲で設定してください。デフォルトの設定は「64」バイトです。
- ・Ping 回数 : Ping を送る回数を設定します。1 ~ 200 の範囲で設定してください。デフォルトの設定は「4」です。

● Traceroute

「スタート」をクリックすると指定したターゲットに対して Traceroute を実行しネットワーク経路の確認をすることができます。

Ping Traceroute **Nslookup** **スピードテスト** デバイス検出

Tracerouteテストパラメータ

ターゲットIP / ドメイン名	<input type="text" value="google.co.jp"/>
-----------------	---

```
traceroute to google.co.jp (142.251.222.35), 30 hops max, 38 byte packets
 1 192.168.11.1 0.863 ms
 2 192.168.3.1 1.323 ms
 3 113.111.140.140 2.729 ms
 4 100.110.244.41 2.779 ms
 5 133.148.221.158 2.754 ms
 6 174.125.154.154 2.438 ms
 7 163.159.77.1 4.41 ms
 8 163.159.77.36 11.221 ms
 9 163.159.77.7 10.094 ms
10 *
11 142.250.226.58 9.274 ms
12 108.170.242.144 9.688 ms
13 142.251.222.35 9.060 ms
```

- ・ターゲット IP / ドメイン名 : Traceroute のターゲットを IP アドレスまたはドメイン名で設定します。

● Nslookup

「スタート」をクリックすると指定したターゲットに対して Nslookup を実行しドメイン名から IP アドレスを確認します。

Ping Traceroute **Nslookup** **スピードテスト** デバイス検出

Nslookupテストパラメータ

ターゲットIP / ドメイン名	<input type="text" value="google.co.jp"/>
-----------------	---

```
Name: google.co.jp
Address 1: 142.251.222.35 rrt13s72-in-f3.1e100.net
Address 2: 2404:6800:4004:818::2003 rrt13s72-in-x03.1e100.net
```

- ・ターゲット IP / ドメイン名 : Nslookup のターゲットを IP アドレスまたはドメイン名で設定します。

●スピードテスト

「スタート」をクリックすると指定したターゲットに対してスピードテストを行います。

Ping Traceroute Nslookup **スピードテスト** デバイス検出

スピードテストパラメータ

ターゲットIP / ドメイン名	<input type="text" value="192.168.11.242"/>
実行時間	<input type="text" value="20"/> 秒
チェック間隔	<input type="text" value="5"/> 秒
IPv4ポート	5201
IPv6ポート	60001

```
Connecting to host 192.168.11.242, port 5201
[ 5] local 192.168.11.241 port 51682 connected to 192.168.11.242 port 5201
[ D] Interval      Transfer  Bandwidth  Retr  Cwnd
[ 5] 0.00-5.00    sec  34.3 MBytes  57.5 Mbits/sec  0  119 KBytes
[ 5] 5.00-10.00   sec  34.1 MBytes  57.1 Mbits/sec  0  174 KBytes
[ 5] 10.00-15.00  sec  34.7 MBytes  58.3 Mbits/sec  0  174 KBytes
[ 5] 15.00-20.00  sec  34.6 MBytes  58.1 Mbits/sec  0  174 KBytes
-----
[ D] Interval      Transfer  Bandwidth  Retr
[ 5] 0.00-20.00   sec  138 MBytes  57.7 Mbits/sec  0      sender
[ 5] 0.00-20.00   sec  137 MBytes  57.6 Mbits/sec                receiver

iperf Done.
```

- ・ターゲット IP / ドメイン名：スピードテストのターゲットを IP アドレスまたはドメイン名で設定します。
- ・実行時間：スピードテストの実行時間を設定します。1～9999 秒の範囲で設定してください。デフォルトの設定は「20」秒です。
- ・チェック間隔：スピードテストの結果の表示間隔です。1～60 秒の範囲で設定してください。デフォルトの設定は「5」秒です。
- ・IPv4 ポート：スピードテストで使用する IPv4 ポートです。「5201」の固定値です。
- ・IPv6 ポート：スピードテストで使用する IPv6 ポートです。「60001」の固定値です。

●デバイス検出

「スキャン」をクリックするとネットワーク上の DAP-P3W6 を一覧で表示します。

Ping Traceroute Nslookup **スピードテスト** **デバイス検出**

デバイス検出

デバイス名	動作モード	IPアドレス	システムMACアドレス	ファームウェアバージョン
DAP-P3W6	AP/Mesh AP	192.168.1.3	1C:82:59:20:3C:27	0.0.13
DAP-P3W6	AP/Mesh AP	192.168.11.242	1C:82:59:20:3C:24	0.0.13

5.4 システムマネージャー

アカウント設定、ファームウェアアップデート、ログの確認などを行います。

5.4.1 アカウント

アカウント設定を行います。「システムマネージャー」-「アカウント」から確認できます。

●アカウント設定

管理ユーザー名、パスワードを変更することができます。

アカウント設定

管理ユーザー名	<input type="text" value="admin"/>
現在のパスワード	<input type="password"/> 
新しいパスワード	<input type="password"/> 
パスワードの確認	<input type="password"/> 

適用

- ・管理ユーザー名：管理ユーザー名を変更できます。12文字以内で入力してください。
- ・現在のパスワード：現在のパスワードを入力してください。
- ・新しいパスワード：新しいパスワードを入力してください。12文字以内で入力してください。
- ・パスワードの確認：確認のため新しいパスワードを再度入力してください。

注意：大文字・小文字区別されます。またユーザー名・パスワードの片方だけを変更したい場合、変更しない項目は元の値を入力してください。パスワードの右側の矢印アイコンをクリックするとパスワードの表示・非表示を切り替えることができます。

5.4.2 ファームウェア

ファームウェアアップデート、設定のバックアップ・復元を行います。
「システムマネージャー」-「ファームウェア」から実行できます。

●ファームウェアアップデート

ファームウェアアップデート

現在ファームウェアバージョン:0.0.13
デバイスバージョン:1.0
- 注意: ファームウェアを新しいものにアップグレードする際には、必ずデバイスのバージョンを確認してください。該当するバージョンでない場合、アップグレードは失敗します。
ハードディスクから新しいファームウェアを選択してください。
<input type="button" value="ファイルを選択"/> <input type="button" value="選択されていません"/> <input type="button" value="アップロード"/>

「ファイルの選択」で新しいファームウェアを選択後、「アップロード」をクリックしてください。

●バックアップ/設定の復元

現在の動作用設定のバックアップと復元、ユーザーデフォルト設定の保存と復元、工場出荷時初期値へのリセットを行います。

バックアップ/設定の復元

工場出荷時設定	
- 現在設定バックアップ	<input type="button" value="エクスポート"/>
- 新しい設定で復元	<input type="button" value="ファイルの選択"/> <input type="button" value="ファイルが選択されていません"/> <input type="button" value="インポート"/>
- 初期値にリセット	<input type="button" value="リセット"/>
ユーザー設定	
- デフォルトとして設定をバックアップ	<input type="button" value="バックアップ"/>
- ユーザー初期値に復元	<input type="button" value="復元"/>
- 警告: この機能は、工場出荷時の設定を現在の AP 設定で上書きします。物理リセットボタンを押すと、工場出荷時の設定ではなく、現在の AP の設定が復元されます。工場出荷時の設定に戻すには、UI で [工場出荷時設定] の [初期値にリセット] を押します。	

●工場出荷時設定

- ・現在設定バックアップ：「エクスポート」をクリックすると現在の設定値をご使用されているパソコンに保存することができます。
- ・新しい設定で復元：バックアップで保存したファイルから設定を復元することができます。
「ファイルの選択」をクリックしファイルを選択後、「インポート」をクリックしてください。
- ・初期値にリセット：「リセット」をクリックすると工場出荷初期値にリセットされます。

●ユーザー設定

本製品は、工場出荷時設定とは別に、ユーザーが頻繁に使用する動作用設定を「ユーザーデフォルト」として保存することができます。

(※) ユーザーデフォルトには、本製品の Web 設定画面の IP アドレスや管理用アカウントのユーザー名、パスワードの変更なども含まれます。ユーザーデフォルトを保存する際は、必ず IP アドレスやユーザー名、パスワードを手元に控えておいてください。

PoE アダプタの物理リセットボタン (RESET) を 2～5 秒間押し続けるとユーザー初期値に復元され、10～20 秒間押し続けると工場出荷初期値に復元されます。

- ・デフォルトとして設定をバックアップ：「バックアップ」をクリックすると現在の動作用設定をユーザーデフォルトとして保存します。
- ・ユーザー初期値に復元：「復元」をクリックするとバックアップで保存されたユーザーデフォルトで動作用設定が復元されます。

5.4.3 ログ

本製品のログ機能を設定します。「システムマネージャー」-「ログ」から設定できます。

●システムログ

システムログ

ステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ログタイプ	すべて ▼
リフレッシュ	
クリア	
<pre>Jan 5 15:06:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 760 cmd /etc/init.d/system start ntp_retry Jan 5 15:06:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 759 cmd /bin/sh /sbin/reconnect_wds_ap.ε Jan 5 15:05:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 684 cmd /bin/sh /sbin/reconnect_wds_ap.ε Jan 5 15:04:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 610 cmd /etc/init.d/system start ntp_retry Jan 5 15:04:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 609 cmd /bin/sh /sbin/reconnect_wds_ap.ε Jan 5 15:03:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 533 cmd /bin/sh /sbin/reconnect_wds_ap.ε Jan 5 15:02:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 416 cmd /etc/init.d/system start ntp_retry Jan 5 15:02:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 415 cmd /bin/sh /sbin/reconnect_wds_ap.ε Jan 5 15:01:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 357 cmd /bin/sh /sbin/reconnect_wds_ap.ε Jan 5 15:00:00 DAP-P3W6 cron.info crond[6939]: USER root pid 32730 cmd /etc/init.d/system start ntp_reti</pre>	
リモートログ	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
トラフィックログ	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ログサーバーIPアドレス	0.0.0.0
ログサーバーポート	514

適用 保存した設定を適用して有効にする

- ・ステータス：ログを記録するかを設定します。記録する場合は「有効」、記録しない場合は「無効」にしてください。デフォルト設定は「無効」です。
- ・ログタイプ：表示するログの種類を選択できます。「すべて」、「デバッグ」、「インフォメーション」、「通知」、「警告」、「エラー」、「重大」、「アラート」、「緊急」から選択できます。デフォルト設定は「すべて」です。
- ・リフレッシュ：「リフレッシュ」をクリックするとログ表示が更新されます。
- ・クリア：「クリア」をクリックすると記録されたログ表示を消去します。
- ・リモートログ：リモートログ機能を有効にするかどうかを設定します。デフォルト設定は「無効」です。
- ・トラフィックログ：トラフィックログ機能を有効にするかどうかを設定します。デフォルト設定は「無効」です。
- ・ログサーバー IP アドレス：リモートログの送信先のサーバーの IP アドレスを設定します。
- ・ログサーバーポート：リモートログの送信先のサーバーのポートを設定します。

5.5 リセット

右上の「リセット」をクリックするとデバイス再起動、初期設定にデバイスを復元することができます。

5.5.1 デバイス再起動

デバイス再起動

注意: このボタンを押すとデバイスが再起動します。

デバイス再起動

「デバイス再起動」をクリックするとデバイスが再起動します。

5.5.2 初期設定にデバイスを復元

初期設定にデバイスを復元

注意: すべての設定がクリアされ、工場出荷初期値またはユーザー初期値にリセットされます。

工場出荷初期値に復元

ユーザー初期値に復元

- 工場出荷初期値に復元
「工場出荷初期値に復元」をクリックすると動作設定が工場出荷初期値に復元されます。
- ユーザー初期値に復元
「ユーザー初期値に復元」をクリックすると動作設定がユーザー初期値に復元されます。
ユーザー初期値は「5.4.2 ファームウェア」のユーザー設定のバックアップで保存されます。
PoE アダプタの PoE ポートの左に側にある RESET ボタンを押すことでも初期設定に復元することができます。
DAP-P3W6 に給電されている状態で RESET ボタンを 2～5 秒間押し続けるとユーザー初期値に復元され、10～20 秒間押し続けると工場出荷初期値に復元されます。



5.6 ログアウト

右上の「ログアウト」をクリックすると確認画面が表示された後ログアウトします。

5.7 言語切り替え

右上のプルダウンメニューで表示言語を切り替えることができます。
「日本語」、「English (英語)」、「German (ドイツ語)」、「Spanish (スペイン語)」、「French (フランス語)」、「Portuguese (ポルトガル語)」、「Russian (ロシア語)」、「簡体中文」、「繁体中文」から選択ができます。

■アフターサービスについて

■アフターサービス

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証規定の内容に基づき修理致します。修理の際は、お買い上げ販売店または直接弊社にお問い合わせください。

本製品の故障またはその使用を理由とする結果の影響については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

■保証規定

- ①保証期間は弊社から出荷して12ヶ月とします。
- ②保証期間内に正常なご使用状態で万一故障した場合には、無償で修理致します。
- ③保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
 - (1) シリアル番号の確認ができない場合
 - (2) 取り扱い上の誤りによる故障及び損傷
 - (3) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧等による故障及び損傷
- ④次のような場合、有償でも修理できない場合があります。
 - (1) 修理価格が高額になる場合
 - (2) 不当な改造や修理による故障及び損傷
 - (3) マニュアルに記載されていない方法で使用された場合
- ⑤弊社はいかなる場合もおお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害及び第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害について一切責任を負いません。
- ⑥本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、弊社では海外での保守サービス及び技術サポートは行っておりません。海外への持ち出しに関しましてはお客様の責任において法令に従い実施されるものと致します。

本製品は外国為替及び外国貿易法の「リスト規制品」に該当しません。日本国外への持ち出しの際も、国連武器禁輸国・地域（輸出令別表第3の2の地域）を除き、輸出許可申請は必要ありません。

本製品はキャッチオール規制の対象である輸出貿易管理令別表第1の16項に該当します。キャッチオール規制で定められている要件に該当する場合は輸出許可が必要です。

【安全保障貿易管理関連について】

経済産業省 安全保障貿易管理 (<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html>)

財団法人 安全保障貿易情報センター (<https://www.cistec.or.jp/>)

注意：電波法は日本国内のみ取得しています。



ダイアトレンド株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワー B28F

商品購入に関するお問い合わせ 大阪 (06) 7777-9339

東京 (03) 4589-8002

技術に関するお問い合わせ 大阪 (06) 7777-9444

東京 (03) 4589-8001

e-mail info@diatrend.co.jp

Diatrend Corp.[®]